

# 参 考



### あ 行

#### 相対取引

せり取引でなく、卸売業者と買い手の協議によって価格、数量を決める取引形態のこと。

#### 栄養機能食品

栄養素（ビタミン・ミネラル）の補給のために利用される食品であり、1日当たりの摂取目安量に含まれる栄養成分量が、国が定めた上・下限値の規格基準に適合している場合、国への届出なしに、その栄養成分の機能性について国が定めた表示を行えるもの。

#### エコファーマー

「持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律」に基づいて、持続性の高い農業生産方式（環境と調和のとれた持続的な農業生産の確保を図るため、たい肥などによる土づくりと化学肥料・化学合成農薬の低減を一体的に行う農業生産方式）を導入する計画を作成し、知事の認定を受けた農業者のこと。

#### エコフィード

環境や生態（ecology）、節約（economy）などを意味するエコ（eco）と、飼料を意味するフィード（feed）を併せた造語であり、醤油粕、豆腐粕など食品の製造過程で得られる副産物や余剰食品、調理残さなどを利用して製造された家畜用飼料のこと。

#### おいでまい

県農業試験場が育成した水稻品種。平成 23 年から試験栽培を行い、平成 25 年から本格栽培を開始。夏の暑さに強く、品質・食味に優れ、平成 25 年産は、一般財団法人日本穀物検定協会が実施した「米の食味ランキング」で、四国で初めて「特A」評価を獲得。

#### オリーブ牛

讃岐牛の中でも、オリーブ果実を原料とするオリーブ飼料を一定期間給与することで、肉の旨味や柔らかさなど品質が向上したプレミアム牛肉。

#### オリーブ豚、オリーブ夢豚

オリーブ豚は、麦類を一定以上与えた県産の銘柄豚に、オリーブ果実を原料とするオリーブ飼料を一定期

間給与することで、肉の旨味や甘味など品質が向上。オリーブ夢豚は、黒豚の血統が 50%以上の讃岐夢豚に同様の手法で飼育したプレミアムなもの。

### か 行

#### カーネーション「ミニティアラシリーズ」

県農業試験場が、カーネーションのバリエーションを増やすため、「なでしこ」と交配して育成した花卉の細い「剣咲きタイプ」の品種。外観がティアラ（王冠）に似ていることから、「ミニティアラ」と命名。これまでに、「ミニティアラピンク」や「ミニティアラクリーム」を含む7品種が育成されている。

#### 価格安定制度

農畜産物の価格が著しく低落した場合に、価格差補給金を交付することによって農家経営の安定を図り、農畜産物の安定供給と国民消費生活の安定を図る制度。

#### かがわオリーブオイル品質評価・適合表示制度

オリーブオイルの国際的な基準に即し、県が定めた化学検査や官能評価における品質評価基準に適合した製品であることを表示する香川県独自の制度。

#### かがわ地産地消応援事業所

月1回以上、地産地消「弁当の日」を設定、または社員食堂や給食施設において、県産農林水産物を50%以上取り入れたメニューを提供するなど、県産農林水産物の利用促進に先導的に取り組んでいる県内の企業や大学などのこと。

#### かがわ地産地消協力店

地産地消の趣旨に賛同し、県産農林水産物を積極的に販売、利用する小売店や飲食店などのこと。

#### 「かがわ農商工連携ファンド」制度

（公財）かがわ産業支援財団が、地域の活性化を図るため、地元金融機関や関係団体の協力のもと、「かがわ農商工連携ファンド」を創設。県内の中小企業者と農林水産業者が連携のもと、創意工夫を凝らした取組みに対し、ファンドの運用益を原資として助成する制度。

## 香川本鷹

かつて塩飽諸島や荘内半島で栽培され、絶滅が危惧されていた唐辛子。タカノツメの一種で、長さが7～8cmと大ぶりで、上品な香りと辛みが強いのが特徴。

## 危害分析・重要管理点（HACCP）手法に基づく衛生管理

食品の製造・加工工程のあらゆる段階で発生するおそれのある微生物汚染などの危害要因をあらかじめ分析（Hazard Analysis）し、その結果に基づいて、製造工程のどの段階でどのような対策を講じればより安全な製品を得ることができるかという重要管理点（Critical Control Point）を定め、これを連続的に監視・記録することにより、製品の安全を確保する衛生管理手法。

## 基幹水路

農業用排水のための利用に供される水路であって、その受益面積が100ha以上のもの。

## 基幹的農業従事者

農業就業人口（自営農業に主として従事した世帯員）のうち、普段の仕事として主に農業に従事している者のこと。

## 機能性表示食品

事業者の責任において、科学的根拠に基づいた機能性を表示した食品であり、販売前に安全性及び機能性の科学的根拠に関する情報などが消費者庁長官へ届け出られたもの。

## グリーン・ツーリズム

農山漁村で、農林漁業の体験やその地域の自然・文化に触れながら、地元の人々との交流を楽しむこと。

## 契約的取引

生産者の再生産価格を確保して、経営の安定を図るため、実需者との間で価格・数量などを、あらかじめ取り決めた計画的な取引手法。

## 耕作放棄地

以前に耕地であったもので、過去1年以上作物を栽培せず、しかもこの数年の間に再び耕作する考えのない土地。

## 口蹄疫

牛、豚、山羊などの偶蹄類動物（蹄が2つに分かれている）が感染する家畜の伝染性疾病。きわめて伝染力が強く、発生し、まん延した時には経済的被害が甚大であるため、殺処分等の感染拡大防止措置が必要となる。

## 高病原性鳥インフルエンザ

鶏、あひる、うずら、きじ、七面鳥などに感染し、その伝染力の強さと高致死性などから、国際的に最も警戒すべき家畜の伝染性疾病の1つ。発生時には、殺処分等の感染拡大防止措置が必要となる。

## 米トレサビリティ制度（法）

米の品質などに問題が発生した場合、流通ルートを手早く特定するため、米穀等の取引などの記録を作成・保存することや、産地情報を取引先や消費者に伝達することを義務づけている制度（法律）。

## 雇用就農

農業法人などに雇用され、年間を通じて新たに農業に従事すること（外国人技能実習生を除く）。

# さ 行

## 讃岐三畜

本県のおいしいブランドとして、肉質にこだわった特産畜産物「讃岐牛」「讃岐豚」「讃岐コーチン」の総称。

讃岐牛：血統明確な黒毛和種で、本県で飼育され肉

質ランクが15ランクの上位6ランク以上のもの

讃岐豚：肉質の良いバークシャー種と交配（50%

以上）した肉豚で、麦を給与して育てたもの

讃岐コーチン：畜産試験場が作出した地鶏で、優れた

肉質を持つ。脚毛が特徴。

## さぬき讃フルーツ

県オリジナル品種を中心とした果物で、県が認定した生産者が栽培し、糖度など一定の品質基準を満たしたものの。

## さぬきの夢

県農業試験場が開発したさぬきうどん用の小麦品種の総称。平成12年には初の品種「さぬきの夢2000」、平成21年には収量性やうどんの加工適性及び食味を

改良した後継品種の「さぬきの夢 2009」が開発され、平成 25 年産から全面「さぬきの夢 2009」が栽培されている。

### 実需者

生産者から消費者に農産物が届くまでの過程において、運搬や売買、加工などのさまざまな業態に関わる者の総称。具体的には、卸売市場をはじめ、流通業者や食品産業、外食産業、量販店、小売店などをさす。

### 集落営農組織

集落を単位として農家が各自の農地を持ち寄り、共同で農業機械を所有したり、農作業を行ったりする組織。任意組織の場合が多いが、法人化している組織も増えている。

### 集落排水施設

農村の集落を対象に、家庭などから出されるし尿や生活雑排水などの汚水を処理するための排水管や処理場などの施設のこと。

### 主業農家

農業所得が主（農家所得の 50%以上が農業所得）で、調査期日前 1 年間に自営農業に 60 日以上従事している 65 歳未満の世帯員がいる農家。

### 飼養衛生管理基準

家畜伝染病予防法に基づき、家畜（牛、豚、鶏など）の所有者が、異常家畜の早期発見通報や消毒の励行など、守らなければならない衛生基準（平成 16 年 12 月に制定）。

### 食育

一般的には、食品の安全性への不安や、生活習慣病の増加などを背景に、食習慣や食文化、食材、栄養などに関する理解を深めるなど、食を通じて、身体や心の健康を育むこと。

### 新規需要米

主食用以外に利用され、その用途が主食用米の需給に影響を与えない米のこと。本県では、主に飼料用米（粳または玄米を飼料として利用）、米粉用米（小麦の代わりにパンや麺などに利用）、稲発酵粗飼料（WCS）用稲（穂と茎葉を刈り取り、発酵させ飼料として利用）などが生産されている。

### 専業農家

世帯員の中に兼業従事者（調査期日前 1 年間に 30 日以上雇用兼業に従事した者又は調査期日前 1 年間に販売金額が 15 万円以上ある自営兼業に従事した者）が 1 人もいない農家のこと。

## た 行

### ため池ハザードマップ

地震などにより「ため池」が決壊した場合の浸水危険区域、避難地、避難路などの情報を公開・掲載した被害予測図。

### 多面的機能

国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承など、農村で農業生産活動が行われることにより生じるさまざまな機能。

### 地産地消

「地域生産、地域消費」を短くした言葉で、「地域でとれた生産物を地域で消費する」という意味。本県では、平成 14 年度より、県産農林水産物の需要拡大と県民の健康で豊かな食生活の実現をめざし、地産地消を推進している。

### 地理的表示保護制度

地域で長年培われた特別な生産方法や気候・風土・土壌などの生産地の特性により、高い品質と評価を獲得している農林水産物・食品の名称を、品質の基準とともに国に登録し、知的財産として保護する制度。

### TPP

環太平洋経済連携協定（Trans-Pacific Partnership）の略称で、アジア太平洋地域において、モノの関税だけでなく、サービス、投資の自由化を進め、さらには知的財産、金融サービス、電子商取引、国有企業の規律など、幅広い分野で 21 世紀型のルールを構築する経済連携協定。オーストラリア、ブルネイ、カナダ、チリ、日本、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、シンガポール、米国及びベトナムの合計 12 か国が交渉に参加し、2015 年 10 月、米国アトラント閣僚会合において大筋合意に至った。

### 日本型直接支払制度

農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対して支援するもの。地域の農家や住民による共同活動を支援する「多面的機能支払」、中山間地等の条件不利地のコスト差を支援する「中山間地域等直接支払」、環境保全効果の高い営農活動を支援する「環境保全型農業直接支援」で構成される。

### 認定農業者

農業経営基盤強化促進法に基づき、5年後を目標として経営規模の拡大や生産方法・経営管理の合理化などを記載した農業経営改善計画を作成し、これを市町から認定を受けた農業者。経営改善の取組みに関する優遇措置が講じられる。

### 農業災害補償制度

農家が災害にあった時、その損害を補填して、農業経営の安定と農業生産力の発展を図ることを目的とする制度。農家が一定の掛金（掛金の一部を国が負担）を出し合い、自然災害によって一定の損害を受けた時に、共済金が支払われる。

### 農業士

自らも農業のプロとして優れた農業経営を営む傍ら、地域の農業振興のリーダーとして農業後継者の育成や農村地域活動を積極的にしている農業者。県が「香川県農業士」として認定している。

### 農業就業人口

自営農業に従事した世帯員（農業従事者）のうち、調査期日前1年間に自営農業のみに従事した者または農業とそれ以外の仕事の両方に従事した者のうち、自営農業が主の者の総数。

### 農業振興地域制度

今後とも長期にわたって農業を振興する地域を明らかにし、農業と農業以外の土地利用の調整を図るとともに、その地域の整備を計画的、集中的に行うことにより、農業の健全な発展を図ることを目的とする、農業振興地域の整備に関する法律に基づく制度。

### 農業生産工程管理（GAP）

農業生産活動を行ううえで、必要な関係法令などの

内容に則して定められる点検項目に沿って、農業生産活動の各工程の正確な実施や記録、点検および評価を行うことによる持続的な改善活動のこと。GAPは Good Agricultural Practice の略。

### 農業の6次産業化

農山漁村の活性化のため、地域の第1次産業とこれに関連する、加工や販売等の第2次、第3次産業に係る事業の融合などにより、地域ビジネスの展開と新たな業態の創出を行う取組み。

### 農業法人

法人の形態によって農業を営む法人の総称。農業法人は、「農地所有適格法人（旧農業生産法人）」と一般の農業法人に大別され、農地所有適格法人は、農業経営を行うために農地を取得できる法人。

### 農産物の栽培履歴記帳（トレーサビリティ）

栽培期間中に使用した農薬の種類や使用時期、濃度などを記録・保管すること。すべての生産者が記帳・保管を実施することで、流通業者や消費者からの問合せに速やかに対応でき、安全・安心な農産物の供給を確保することができる。

### 農地機構

農地中間管理事業の推進に関する法律に基づき、農用地の利用の効率化・高度化の促進を図ることを目的とする法人として、知事の指定により都道府県に一つ設置される農地中間管理機構のこと。本県では、「公益財団法人香川県農地機構（旧の香川県農業振興公社）」が平成26年3月24日に農地中間管理機構として知事の指定を受け、同年4月1日から業務を開始している。

### 農地機構が行う特例事業

農地中間管理機構が農地中間管理事業の実施と併せて農業経営基盤強化促進法に基づき行う①農地売買等事業、②農地売渡信託等事業、③農業生産法人出資育成事業、④研修等事業の4つの事業。

### 農地中間管理事業

農地中間管理機構が、離農したり、規模を縮小する農家から農地を借り入れて、その農地を担い手の農家に再配分（貸付け）する事業。

## 農地転用許可制度

優良農地の確保と非農業的土地利用との調整を図る観点から、農地を立地条件などにより区分し、開発を農業上の利用に支障の少ない農地に誘導するとともに、資産保有目的などでの農地取得を認めないこととする、農地法に基づく制度。対象となる農地には、現に耕作されていないとしても、耕作しようとするればいつでも耕作可能な農地（不作付地など）も含まれる。

## は 行

### バイオマス

家畜排せつ物や生ごみ、木くずなどの動植物から生まれた再生可能な有機性資源。化石資源への依存を低減し、地球温暖化防止や循環型社会の形成に貢献するもので、食料などの供給というこれまでの農林水産業の役割にくわえ、エネルギーや工業製品の供給という新たな可能性を与え、農林水産業と農山漁村の活性化や新たな産業の育成につながるものとされている。

### 花いけバトル

華道家やフラワーデザイナー等の出場者が制限時間内に花を選び、器に生けて、作品としての美しさのほか、即興で花を生ける仕草や表現力を含めて、一般の観客が審査する競技のこと。

### 人・農地プラン

高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などの集落・地域が抱える「人と農地の問題」を解決するため、集落・地域における話し合いにより、市町が、今後の地域の中心となる経営体や地域農業のあり方などを定め、決定したプラン。

## ま 行

### マーケットイン

商品の企画開発や生産において、消費者のニーズを重視する方法のこと。

### ミシマサイコ

根が柴胡（さいこ）という生薬（天然に存在する薬効を持つ産物から有効成分を精製することなく体質の改善を目的として用いる薬の総称）として用いられる薬用作物。解熱、鎮痛作用があり、多くの漢方方剤に配合されている。

## や 行

### 薬用作物

植物体またはその抽出成分を医薬として用いる、あるいは製薬の原料とする作物。

### 有機農業

化学的に合成された肥料および農薬を使用しないこと、ならびに遺伝子組換え技術を利用しないことを基本として、農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減した農業生産の方法。

### 有機農産物

日本農林規格（有機 JAS 規格）において定められている生産方法の基準に従い生産された農産物。基準は、「は種または植付け前2年以上（果樹など多年生作物では最初の収穫前3年以上）および栽培期間中に原則として化学合成された肥料および農薬を使用しないこと」、「遺伝子組換え種苗は使用しないこと」といったものがある。

## ら 行

### ラナンキュラス「てまりシリーズ」

県農業試験場がラナンキュラスのバリエーションを増やすために育成した品種。つぼみの形が丸く、てまりに似ていることから「てまり」と命名。これまでに、「紅てまり」や「雪てまり」を含む6品種が育成されている。

### 老朽ため池

年月の経過に伴い、堤体や底樋の老朽化による漏水などの問題が発生する可能性のあるため池。

香川県農政水産部農政課

〒760-8570 高松市番町四丁目1番10号

TEL : 087-832-3396 FAX : 087-806-0202

E-mail : nouki@pref.kagawa.lg.jp

※ 平成28年3月策定  
平成28年7月一部変更



かがやくけん、かがわけん。

香川県